

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成30年10月5日

計画の名称	1 北部九州のものづくり産業の成長を支える高速道路IC及び空港・港湾等への物流ネットワーク強化を図る道路整備				重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)		交付対象	北九州市		
計画の目標						

産業拠点からインターチェンジや空港などの物流拠点への連絡を強化することにより、産業競争力の強化や新たな企業進出を促進するため、基幹的な物流ネットワークを構築する道路整備を行う。さらに、産業拠点から鉄道駅への連絡強化と交通結節機能の強化を行うことで、物流に加え人の流れの活性化と円滑化を図り、産業活動を支援する道路整備を行う。

計画の成果目標 (定量的指標)	国道199号や(他) 中原戸畑1号線など要素事業の整備により体系的な物流道路ネットワークを強化する。また、産業集積のある副都心黒崎地区では、世界的なロボット産業拠点の形成と新たな企業立地を促進するため、黒崎駅南北連絡通路の整備により交通結節機能を強化する。					
-----------------	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)									
物流ネットワーク道路の供用率 (物流ネットワーク道路の供用率) = { (アクセス道路供用延長) / (アクセス道路事業延長) }	26%	40%	60%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	106,387 百万円	A	106,277 百万円	B	0 百万円	C	110 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.1%

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
A-1	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(都) 八幡鞍手線 (楠橋地区)	バイパス2.27km	北九州市						1,511			H28からP9へ移行
A-2	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(他) 中原戸畑1号線	バイパス2.1km	北九州市						200			
A-3	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(他) 中貫長野1号線	バイパス2km	北九州市						340			H28からP9へ移行
A-4	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(1) 中貫貫弥生が丘1号線	バイパス1.63km	北九州市						210			H28からP9へ移行
A-5	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(他) 黒崎駅南北自由通路	連絡橋新設0.1km	北九州市						2,450			H28からP11へ移行
A-6	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(2) 曾根225号線外	バイパス0.7km	北九州市						156			
A-7	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(1) 湯川飛行場線	バイパス0.5km	北九州市						840			
A-8	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(2) 曾根223号線	バイパス1.54km	北九州市						80			
A-9	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(主) 恒見朽網線 (6号線)	バイパス7.5km	北九州市						12,400			
A-10	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(国) 495号竹並バイパス	バイパス1.7km	北九州市						65			H28からP9へ移行
A-11	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(国) 199号砂津バイパス	バイパス0.7km	北九州市						800			
A-12	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(国) 211号第1工区	現道拡幅1.7km	北九州市						920			H28からP9へ移行
A-13	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	(国) 211号第2工区	現道拡幅1.2km	北九州市						3,600			H28からP9へ移行
A-14	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	下曾根駅前線	0.4km	北九州市						1,240			
A-15	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	曾根苅田線	0.4km	北九州市						1,356			H28からP11へ移行
A-16	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	飛行場南線 (中曾根工区)	道路新設0.8km	北九州市						6,500			P9から移行
A-17	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	戸畑枝光線 (戸畑ランプ～牧山ランプ)	バイパス1.8km	北九州市						28,000			P3から移行
A-18	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	汐井町牧山海岸線	現道拡幅0.8km	北九州市						5,800			P3から移行
A-19	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	3号線	L=2.1km	北九州市						1,160			P2から移行
A-20	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	日明渡船場線 (中原工区)	L=1.9km	北九州市						672			P2から移行
A-21	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	日明渡船場線 (日明工区)	L=0.8km	北九州市						100			P2から移行
A-22	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	日明渡船場線 (中井工区)	L=1.2km	北九州市						20			P2から移行
A-23	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	砂津長浜線	L=0.9km	北九州市						33,939			P9から移行
A-24	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	城山西線	L=0.7km	北九州市						1,440			P11からP12へ移行
A-25	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	日明渡船場線 (中原工区)	L=3.1km	北九州市						2,478			A-20、22と統合
合計												106,277					
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計												0					

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
C-1	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	筑鉄穴生駅EV設置	EV2基	北九州市						50	
C-2	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	交通量調査	交通量調査	北九州市						60	
合計													110		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C-1	穴生(あのお)駅へのエレベーター設置によりバリアフリー化をし、施設の利便性向上、多様な移動手段を確保することで鉄道駅への連絡強化が図れ、道路改築事業(1-A5)と一体となって交通結節機能強化に寄与するものである。														
C-2	計画の最初と最後に北九州市内の交通量調査を実施し、交付金で実施している道路事業の効果的な進捗を図るとともに、整備効果の検証に活用する。また、今後整備していく道路事業などの必要性・効果の検証に活用する。														
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

交付金の執行状況

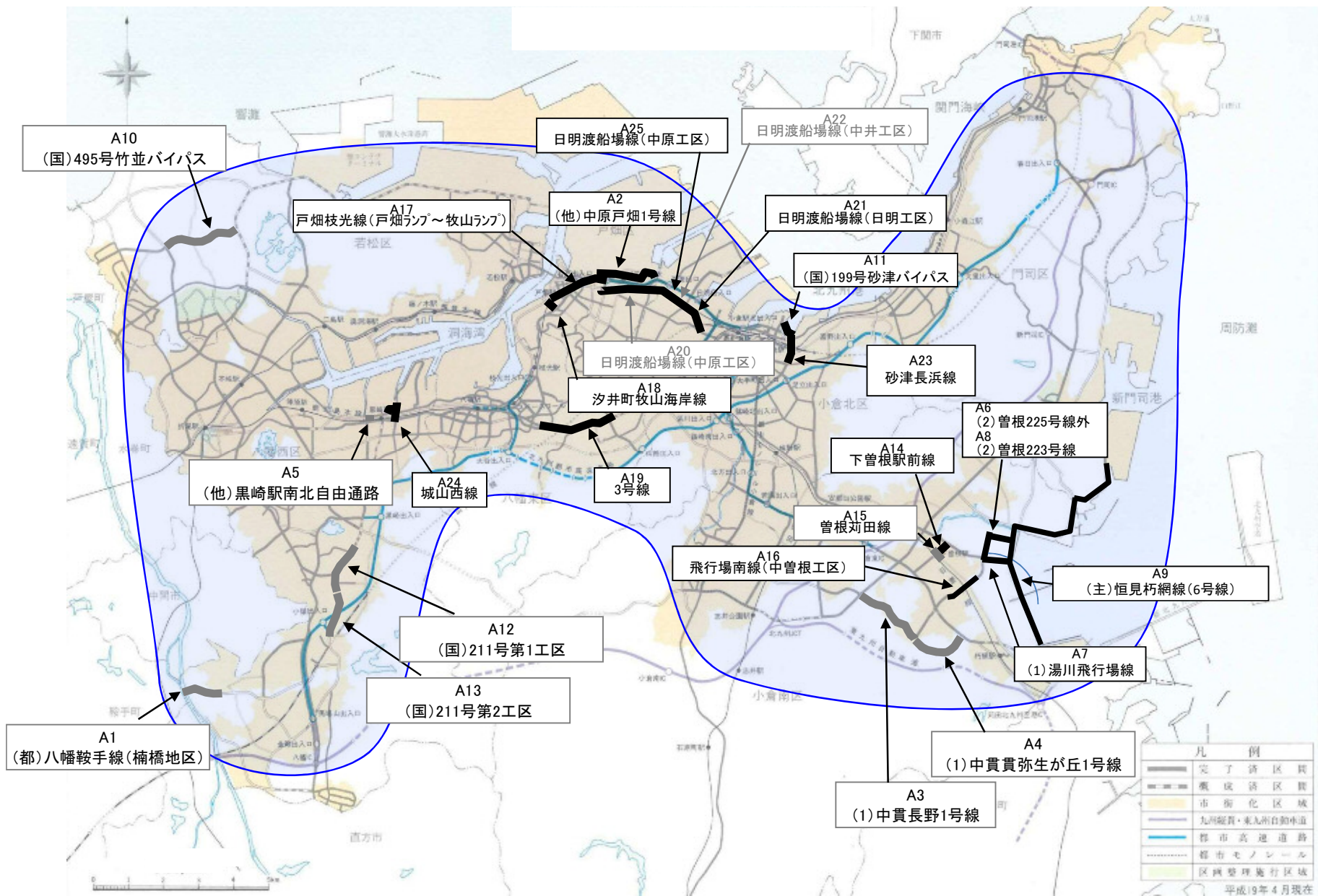
(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	2,085	2,275	2,991		
計画別流用 増△減額 (b)	△ 242	0	0		
交付額 (c=a+b)	1,843	2,275	2,991		
前年度からの繰越額 (d)		636	1,486		
支払済額 (e)	1,207	1,425	2,489		
翌年度繰越額 (f)	636	1,486	1,988		
うち未契約繰越額 (g)	434	445	924		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	23.5%	15.3%	20.6%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	用地交渉に不測の日数を要したため	関係機関協議に不測の日数を要したため	関係機関協議に不測の日数を要したため		

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

(記載例) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	1 北部九州のものづくり産業の成長を支える高速道路IC及び空港・港湾への物流ネットワーク強化を図る道路整備		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	北九州市



## 社会資本整備総合交付金チェックシート

計 画 の 名 称 : 北部九州のものづくり産業の成長を支える高速道路IC及び空港・港湾等  
への物流ネットワーク強化を図る道路整備

都道府県・市町村名: 北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	○
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
2) 定量的指標の明瞭性	○
3) 目標と事業内容の整合性	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
2) 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○